

中小企業のお客様向け

工場におけるカーボンニュートラル 推進事例と成功要因

本書を読むとわかる2つのこと

1. 中小企業の工場におけるカーボンニュートラル実践事例
2. カーボンニュートラル推進の成功要因

1

中小企業の工場における カーボンニュートラル 実践事例

SECTION

事例概要

企業名	主な取り組み	主な効果
グンダイ株式会社	- 生産プロセスの運用改善から着手 「不稼働時間」の設定。不良率チェックやマシントラブルの確認 - 全工程で使用していたコンプレッサーを高効率なインバーター機へ交換	稼働率を10%向上、電力消費の効率化
株式会社ジョッキ	- エアコンの積極的な入れ替え - 太陽光発電設備を設置 - 全施設の照明をLED化	取引先との良好な関係を維持、電力消費コスト削減
リズム株式会社	- サステナビリティ委員会、環境部会を設置 3つの工場に太陽光発電設備を導入	従業員の意識向上、取引先からの高評価
加藤軽金属工業株式会社	- ペーパーレス化や、製造過程で発生するアルミスクラップからの再生材利用 - 共同運行便の導入による輸送の積載率を向上 - 再生可能エネルギー由来の電力を使用して製造する「グリーンアルミニウム」の供給	グリーンアルミニウムによる事業価値創出、企業イメージ向上

事例1) グンダイ株式会社



グンダイ株式会社

企業概要

設立	1962年
資本金	1億円
従業員数	100名
事業内容	自動車製造等で使用するアルミ製品の鋳造・加工

カーボンニュートラル取り組みの経緯

- 電気代高騰への対応策を模索していた
- 契約や見積もり段階で、ISO規格やIATFの取得状況や脱炭素取組に関するヒアリングが増加したことで、CO2削減の必要性を実感
- CO2排出量を毎年1%削減する目標を設定

参照

<https://gundai.co.jp/gundai/>

経済産業省 関東経済産業局 令和7年4月 企業の脱炭素取組事例

事例1) グンダイ株式会社

カーボンニュートラル推進のために実施したこと

- ✓ 生産プロセスの運用改善から着手
- ✓ 毎月1回、あえて「不稼働時間」を設定し、不良率チェックやマシントラブルの確認を行う
- ✓ ほぼ全ての工程で使用していたコンプレッサーを高効率なインバーター機へ交換



稼働率が10%程度向上し、不要なエネルギー使用量が削減
また、コンプレッサーのインバーター化により電力使用量を削減

事例2) 株式会社ジョッキ



株式会社ジョッキ

企業概要

設立	1964年
資本金	6千万円
従業員数	450名
事業内容	おつまみを中心とした食品の製造販売

カーボンニュートラル取り組みの経緯

- ISO14001の取得をきっかけに、中長期経営計画に脱炭素取組が位置づけられた
- 環境負荷低減取組を取引先にアピールし、企業価値向上を目指す

参照

<https://www.jokki.jp/>

経済産業省 関東経済産業局 令和7年4月 企業の脱炭素取組事例

事例2) 株式会社ジョッキ

カーボンニュートラル推進のために実施したこと

- ✓ エアコンの積極的な入れ替えによりフロンガス漏洩を防止、消費電力量を削減
- ✓ 食品包装で使用していたプラスチック製インナートレーを一部廃止
- ✓ 埼玉工場・函館工場に太陽光発電設備を設置。また、全施設の照明をLED化



環境負荷低減の努力の積み重ねにより、取引先との良好な関係を維持
省エネ活動や太陽光発電の設置により電力消費コスト削減

事例3) リズム株式会社



リズム株式会社

企業概要

設立	1950年
資本金	123億円
従業員数	連結2,449名 単独469名
事業内容	精密部品、生活用品等の製造・販売

カーボンニュートラル取り組みの経緯

- 社会要請の高まり、取引先からの要請を受け、2022年度から中期経営計画にサステナビリティ戦略を盛り込み、生存戦略と位置付け
- 2027年度までに売上高あたりScope1,2排出量30%削減（2018年度比）を目標に設定

参照

<https://www.rhythm.co.jp/>

経済産業省 関東経済産業局 令和7年4月 企業の脱炭素取組事例

事例3) リズム株式会社

カーボンニュートラル推進のために実施したこと

- ✓ サステナビリティ委員会、環境部会を設置。グループ全体でGXに取り組む体制を構築
- ✓ グループ全社での省エネパトロールや啓発活動を実施
- ✓ 会津、五所川原、ベトナムの3つの工場に太陽光発電設備を導入。工場内使用電力の約15%を賄う



部署を跨いだ横断的な取り組みにより、従業員の意識が向上
欧州企業と取引があるベトナム工場では
GHG排出量を可視化したことで、取引先からの高い評価に繋がった

事例４）加藤軽金属工業株式会社



加藤軽金属工業株式会社

企業概要

設立	1950年
資本金	6千50万円
従業員数	85名
事業内容	アルミニウムの押出型材の製造及びその加工

カーボンニュートラル取り組みの経緯

- 経営層主導で実施していた脱炭素経営の取組を、現場主導で推進するために、脱炭素経営の意義付けを実施
- 脱炭素社会への移行に伴う自社の事業環境を分析。取引先からのCO2排出量の開示要請や従来の素材サプライヤーからの脱却が求められていることが判明
- 製品単位のCO2排出量開示やグリーンアルミ等の先進的な取組を実施することで、競合優位性の構築を目指す方針を決定

参照

<https://katokei.co.jp/>

中小規模事業者向けの脱炭素経営導入事例集 | 環境省

事例 4) 加藤軽金属工業株式会社

カーボンニュートラル推進のために実施したこと

- ✓ 業務のデジタル化によるペーパーレス化や、製造過程で発生するアルミスクラップからの再生材利用
- ✓ 共同運行便の導入によって輸送の積載率を向上
- ✓ 再生可能エネルギー由来の電力を使用した「グリーンアルミニウム」製造などの先進的な取り組み



グリーンアルミ等の取組を通した
先進的な企業イメージの獲得による優位性の構築
事業拡大とCO2排出削減を両立した新規事業の創出

2 事例から読み解くカーボン ニュートラル推進の成功要因

SECTION

中小企業が直面する課題

工場のカーボンニュートラル推進は中小企業にとって多くのメリットをもたらしますが、同時にいくつかの課題も存在します。

課題1

初期投資コストの高さ

高効率設備や太陽光発電システムは、従来の設備に比べて高価であり、大規模な改修を伴う場合はさらに費用がかさむ可能性があります。

課題2

専門的な技術・知見を持つ人材の不足

ZEB※の設計や高度な省エネ設備の導入には専門知識が求められますが、中小企業ではこうした人材の確保は簡単ではありません。

課題3

取り組みの方向性やノウハウの不足

多くの企業でどこから着手すべきか、具体的な削減方法や計画を立てるためのノウハウが不足しており「答えを探す状況」にあります。

※ZEB＝ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）とは、高効率な設備導入による「省エネ」と再生可能エネルギー導入による「創エネ」を組み合わせることで、年間のエネルギー消費量を正味ゼロ以下にすることを目指す建物。

中小企業のカーボンニュートラル化の成功要因

1. 段階的な投資、効果が見えやすい取り組みから着手
2. 単なる環境対応ではなく、事業戦略の中核に据える
3. 外部の専門家と連携を強化
4. 公的支援制度の積極的な活用

中小企業のカーボンニュートラル化の成功要因

POINT 01

段階的な投資、効果が見えやすい取り組みから着手

中小企業は最初から大規模な投資を行いカーボンニュートラル化を目指すのではなく、まず**エネルギー使用量の「見える化」と「運用改善」などの小さく地道な取り組みから着手**し、段階的に進めていくアプローチが現実的です。



POINT 02

単なる環境対応ではなく、事業戦略の中核に据える

経営トップがカーボンニュートラルを単なる環境対応ではなく、事業戦略の中核に据えることが、**組織全体の取り組みを推進する上で不可欠**です。サステナビリティ委員会、環境部会などの専門部隊を設置することも効果的でしょう。



中小企業のカーボンニュートラル化の成功要因

POINT 03

外部の専門家と連携を強化

カーボンニュートラルやZEBに専門的な知見を持つ外部パートナーの活用が、**中小企業が抱えがちな技術的・経済的課題を解決する上で極めて有効**です。プロジェクトの早い段階で見つけて、共に進めていくことが成功の鍵となるでしょう。



POINT 04

公的支援制度の積極的な活用

国や地方自治体が提供する補助金、助成金、税制優遇などの公的支援制度を積極的に活用することで**初期投資の負担を軽減し、将来的な設備投資や技術導入を計画**しましょう。そのためには専門家と連携し、自社に最適な支援制度を見つけ、手続きを進めることが重要です。



3 SAWAMURAの紹介

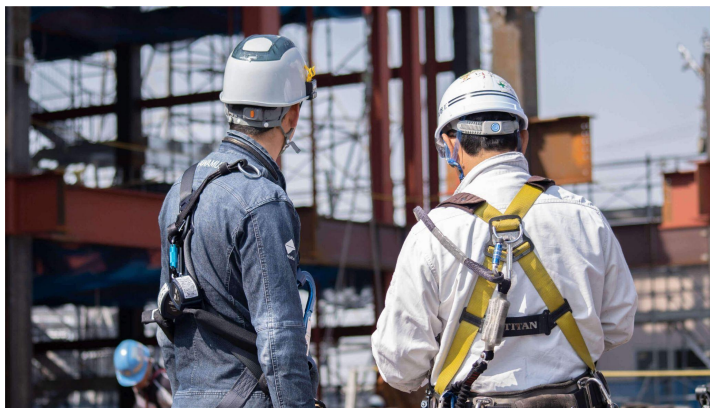
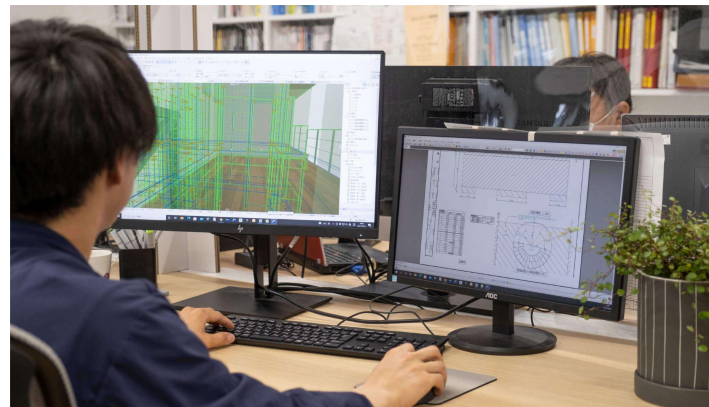
SECTION

SAWAMURAの強み

STRENGTH 01

BIMでファシリティマネジメントが楽になる

設計段階からBIM（Building Information Modeling）を活用することで、建物情報をデジタルで一元管理。設備の位置や仕様が把握しやすく、維持管理・修繕計画の効率化を実現します。竣工後の運用負担を大幅に軽減します。



STRENGTH 02

豊富な工場、倉庫の施工経験とカーボンニュートラルに詳しいスタッフ

多様な業種の工場・倉庫建設を手がけた実績をもとに、最適なレイアウト・設備計画を提案。省エネ設計や再エネ導入など、カーボンニュートラル対応にも精通したスタッフがサポートします。

STRENGTH 03

工場建設後のライフサイクルに対応したアフターチームの存在

建設後も専任のアフターチームが、定期点検から改修・増築まで一貫サポート。生産ラインや事業の変化に応じて柔軟に対応し、工場の長期安定稼働を支えます。



STRENGTH 04

人が集まる工場づくり

縦・横のコミュニケーションを活性化させ、モチベーションを高める空間づくりは、企業のブランディングや採用力の強化にも繋がります。私たち自身が実践する、魅力的な職場環境・空間づくりの体験を活かした提案で、長期的に企業の発展に貢献します。

工場建設のご相談

工場の建設をご検討されている方はお気軽にご相談ください。情報収集の段階でも大歓迎です。

よくあるご質問

- カーボンニュートラルを推進する工場を建てたい
- 工場建設実績を教えてほしい
- SAWAMURAが建設した工場を見学したい
- 概算見積もりを作してほしい
- とりあえず相談にのってほしい

※本資料の情報は2025年10月現在のものとなります。

お問合せ

ご相談フォーム



☎ **077-573-3879**

受付時間 | 平日 8:15~17:15

